

## 教科等横断型授業「理科」×「家庭科」 学習指導案

SDGsでの課題	SDGsの番号(13番)「気候変動に具体的な対策を」				
実社会での課題	近年、線状降水帯の発生や台風の大型化により水害が全国各地で発生している。今年も東北地方でも梅雨前線の活動が活発になり浸水などの被害が発生した。南予地域も平成30年の豪雨災害を経験しており、災害発生はとて身近な問題である。				
生徒に身に付けさせたい資質・能力	将来身近な場所で災害が発生し、避難所生活を余儀なくされたときのためにどのような準備が必要なのか、さまざまな立場に立って考える力を養う。また実際に各家庭で準備したり、将来行政などに働きかけたりする行動力を身に付けさせる。				
主題(教材)	避難所生活について考える				
指導 展 過 開 程	学 習 活 動	時 間	指 導 上 の 留 意 事 項	資 料 等	
	指 導 入	自然災害が多発するようになり、将来避難所生活を余儀なくされることもあることを理解する。	5	○ 近年線状降水帯の発生や台風にもなう水害が多発していることを理解させる。	○電子黒板
	展 示	1 宇和島市では、避難所生活のために水やパックご飯などを備蓄していることを理解させる。	5	○ 宇和島市の資料等で確認させる。	○生徒用端末
	過 渡	2 班に分かれて、いろんな立場でどのような物資がどれくらい必要なのか考え話し合う。	10	○ 宇和島市では災害発生後物資が届くまで3～7日かかることを想定していることに留意させる。【家庭科】	○生徒用端末
	開 講	3 班別に発表し、意見交換を行う。	15	○ 班員だけでは気付かなかった視点を他班から引き出せるよう留意する。【家庭科】	○電子黒板
程 序	4 意見交換を取りまとめた結果と、宇和島市の備蓄状況を比較し、個人で準備する必要のあるものについて考え、発表する。	10	○ 個人や家庭での備えが必要であることを理解させる。	○生徒用端末	
整 理	災害対策を自分のこととして考えることができ、今後の備えに対する意識を高めることができたか確認する。	5	○ 普段から防災について意識することが大切であることを確認させる。		
備 考					